

主題：アブラハム，イサク，ヤコブの神

メッセージ 2

アブラハムの神(1)

信仰によって神の召しに従い、祭壇と天幕の生活をする

聖書：ヨシュア 24:2-3．使徒 7:2．ヘブル 11:8-10．創 12:1-3, 7-8．13:3-4, 18

- ．キリストにある信者として、わたしたちはアブラハムの歴史を繰り返しています。クリスチャン生活は、アブラハムが生きた生活です ガラテヤ 3:6-9．ローマ 4:12：
 - A．アブラハムが信仰によって生き歩んだことは、彼が自分を否み、自分を脇に置き、自分を忘れ、他の方によって生きなければならなかったことを意味します ガラテヤ 2:20。
 - B．アブラハムの信仰の生活は、現在わたしたちの間で繰り返されています。召会生活は今日、アブラハムの生活と歴史の収穫です ローマ 4:12。
 - C．アブラハムは、召し出されて、もはや自分によって生き歩まず、生まれつき持っているすべてのものを放棄し忘れた人です ヨシュア 24:2-3．創 12:1-3。
 - D．神がアブラハムの上で働いた方法は、キリストにあるすべての信者の上で働く方法です ローマ 4:12。
- ．アブラハムは信仰によって神の召しに従いました ヘブル 11:8．ローマ 4:1, 12．ガラテヤ 3:7：
 - A．神がアブラハムを召したのは、栄光の神として彼に現れ、ご自身の本質を彼の中に注入することによってでした 使徒 7:2：
 - 1．神の栄光は彼にとって大いなる吸引でした。それは彼をこの世から神へと分離し、大いなる励ましと力であって、彼が神に従うことができるようにしました 出 29:43．創 12:1, 4。
 - 2．同じ原則で、神は彼の見えない栄光によって新約の信者たちを召しています ペテロ 1:3。
 - B．神はアブラハムに現れて彼を墮落した状態から召し出し、命の木としてのご自身に連れ戻しました 使徒 7:2．創 12:1-3：
 - 1．神がアブラハムに現れた時、それは命の木が現れることでした 2:9。
 - 2．命の木の原則は依存であり、命の木に来ることは神に依存することです ヨハネ 15:4-5。
 - C．アブラハムは神に召された時、信仰によって、どこへ行くかを知らないで出て行きました ヘブル 11:8。
 - D．アブラハムの信仰は彼に起源があるのではありませんでした。むしろ、彼が神を信じたのは、神の要素が彼の中に注入されたことの反応でした 使徒 7:2。
- ．アブラハムは祭壇と天幕の生活をしました ヘブル 11:9．創 12:7-8．13:3-4, 18：
 - A．アブラハムはまず祭壇を築き、次に天幕を張りました。これはアブラハムが神のためであったことを意味します 12:7-8：
 - 1．祭壇を築くことは、わたしたちが自分であるものを持っているものをすべて神にさ

- さげることの意味します。これが神に対する真の礼拝です 詩 43:4 前半：
- a . 祭壇は、わたしたちの生活が神のためであること、神がわたしたちの命であること、わたしたちの生活の意義が神であることを意味します。
 - b . アブラハムは、祭壇を築くことによってまず神の礼拝を顧み、次に自分の生活を顧みました 創 12:7-8。
- 2 . アブラハムが天幕に住んだことは、彼がこの世に属しておらず、地上で寄留者の生活をしたことを証しました ヘブル 11:9-10：
- a . 天幕は祭壇の結果です。祭壇と天幕は互いに密接な関係にあり、分離することはできません。
 - b . 天幕を張ることは、わたしたちがこの世に属していないこと、別の国に属していることの表現、宣言です 15-16 節。
- 3 . アブラハムはベテルとアイの間に天幕を築きました。それらは互いに対照をなしています 創 12:8：
- a . 「ベテル」は「神の家」を意味し、「アイ」は「崩壊の堆積」を意味します。
 - b . 召された者たちの目に、ベテル、すなわち召会生活にのみ価値があります。他のすべては崩壊の堆積です。
- 4 . アブラハムは失敗をし、祭壇と天幕を放棄しました。しかしながら、彼には回復がありました。その回復は、祭壇と天幕に戻るという事柄です 9-10 節 .13:1-4。
- B . アブラハムは他国人また寄留者であり、「土台のある都を熱心に待ち望んでいたからです。その設計者と建築者は神です」 ヘブル 11:10：
- 1 . アブラハムは祭壇と天幕の生活をするによって、他国の地にいるように、信仰によって寄留していることを証しました 9 節。
 - 2 . 卓越した愛すべき新エルサレムは、神の選びの民の愛すべき期待、天の旅人の目的地、目標です 13-16 節 . ペテロ 1:1, 17 . 2:11。
 - 3 . アブラハムの天幕は、究極の天幕である新エルサレムの縮図です 創 12:8 .13:3 . 18:1 . ヘブル 11:9 . 啓 21:2-3：
 - a . 勝利者は天幕で生活し、永遠の幕屋また真の仮庵の祭りである新エルサレムを待ち望んでいます レビ 23:39-43。
 - b . わたしたちは召会生活という「天幕」に住んで、その究極的完成である新エルサレムを待ち望んでいます ヘブル 11:10。
 - c . 新エルサレムは記念のための幕屋となります。それは、勝利者たちが、王国時代における新エルサレムの究極的完成の前に、永遠のシオンの山である新エルサレムに向かって旅をしていた時、いかに天幕に住んでいたかの記念です 啓 21:2-3。
- C . アブラハムの信仰の足跡を歩こうとするなら、わたしたちは祭壇を築かなければなりません。それは、わたしたちの地上での生活が神のためであることを表徴します。また天幕を張らなければなりません。それは、わたしたちがこの世に属していないことを示します ローマ 4:12。